

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 東成区

学 校 名 宝栄小学校

学校長名 疋島 和恵

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 85名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の正答率は全国平均値と比較すると1.7ポイント下回っており、大阪市平均値とは同じである。算数科に関しては、全国平均値より0.4ポイント下回っているが、大阪市平均値より1ポイント上回っている。

国語科においては、過半数の正答率は6割以上である。正答数分布グラフで見ると正答率3割と6、7割が全国より高い分布となっている。算数科においては、大阪市平均値より高い値である。正答数分布グラフで見ると正答率6割が全国に比べ、かなり高い分布となっているが、それ以上の正答率は全国よりも低い分布傾向にある。

児童質問紙調査からは、「学校に来るのは楽しい」と肯定的に回答する児童の割合が増えており85.2%で、大阪市平均（82%）全国平均（84.8%）より上回っている。

## 分析から見えてきた成果・課題

〔国語〕言葉の特徴や使い方を問われる問題の正答率は全国平均を下回っており、漢字を文中で正しく使うことができるかどうか問われる問題で正答率が低く、基礎学力の定着に課題が残る。一方、読むことを問われる問題の正答率は、全国平均を上回っており、物語文において登場人物の相互関係や心情について、描写をもとに捉える問題や人物像を具体的に想像することができるかを問う問題では正答率が高い。

〔算数〕数と計算、変化と関係の領域で全国平均を下回っており、問題場面の数量関係を捉え正しい式を選択する問題の正答率が低い。一方、図形、データの活用の領域では、全国平均を上回っており、角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する問題では正答率が高い。文章から数量関係を捉えて立式することや図を読み取り立式することに課題がある。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに肯定的な回答をする児童の割合は昨年度と比べると増加し83%であった。また、「友達関係に満足していますか」（92.1%）「人が困っているときは、進んで助けていますか」（92%）からは、仲間意識を高く持ち学校生活を送っていることがうかがえる。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の問いに肯定的な回答をする児童の割合は80.7%で大阪市平均値（82.3%）全国平均値（86.3%）より下回っている。自分の意見や考えに自信がない児童や、自分の意見や考えを伝えることが苦手な児童がみられる。

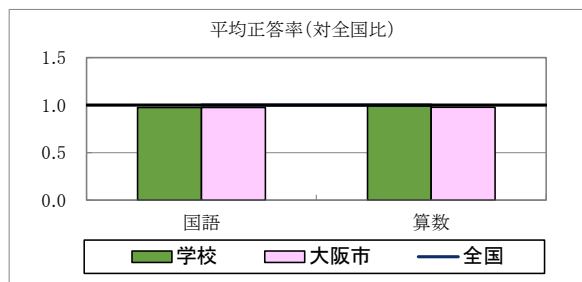
## 今後の取組(アクションプラン)

- ・学級や縦割り班活動などで、児童の活躍の場を設けたり、活躍を実感できる機会を作ったりして、自尊感情や自己肯定感を育てていく。
- ・授業の中で学習形態（ペアやグループ等）を工夫し、対話できる場を作ることで自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりする経験を積み重ねる。
- ・国語科を研究科目として、読解力を高める指導を中心に研究に取り組んでいる。引き続き主体的・対話的で深い学びをめざし授業力の向上を図る。
- ・算数科では、手の届きそうな問題、間違い直し等の振り返りでスモールステップを踏みながら、基礎基本の定着を図る。

## 【 全体の概要 】

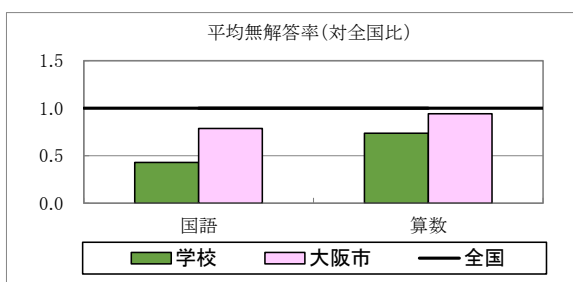
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	66	63
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.8	2.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



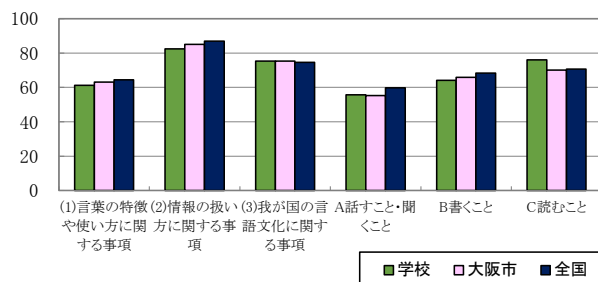
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	61.2	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	82.4	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	75.3	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.7	55.3	59.8
B 書くこと	2	64.1	65.9	68.4
C 読むこと	3	76.1	70.1	70.7

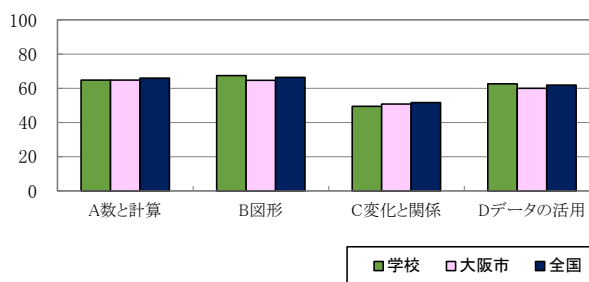
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	64.7	64.8	66.0
B 図形	4	67.4	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	49.4	50.8	51.7
D データの活用	4	62.6	60.0	61.8

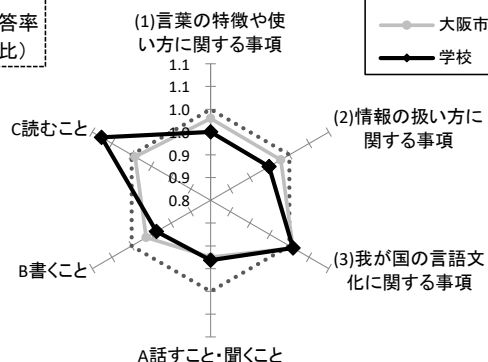
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



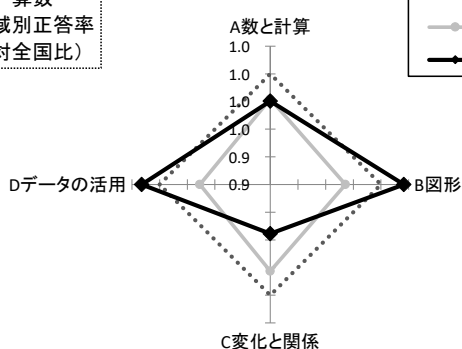
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)



算数  
領域別正答率  
(対全国比)



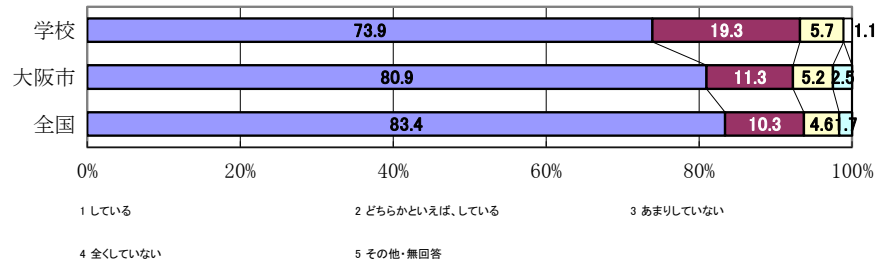
## 児童質問より

質問番号

質問事項

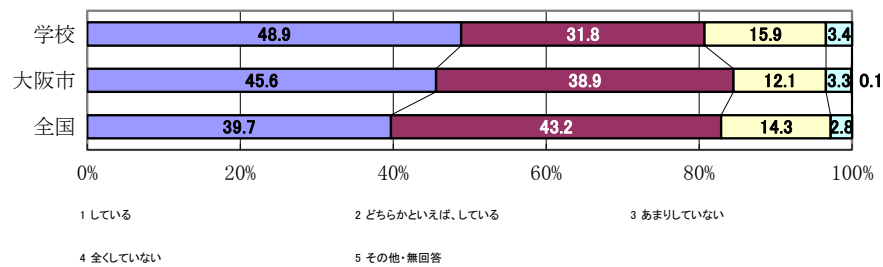
1

朝食を毎日食べていますか



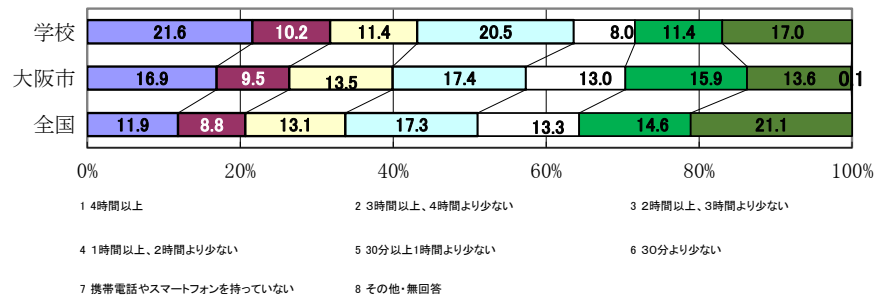
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



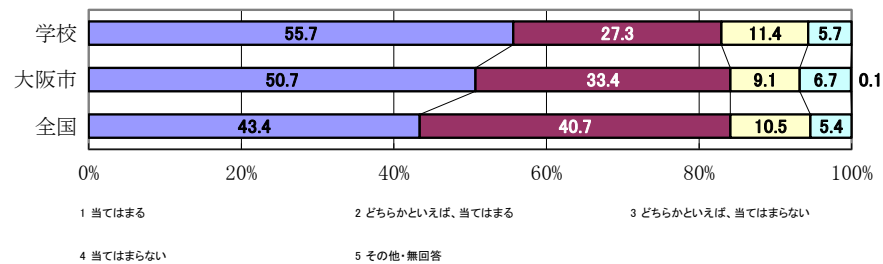
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



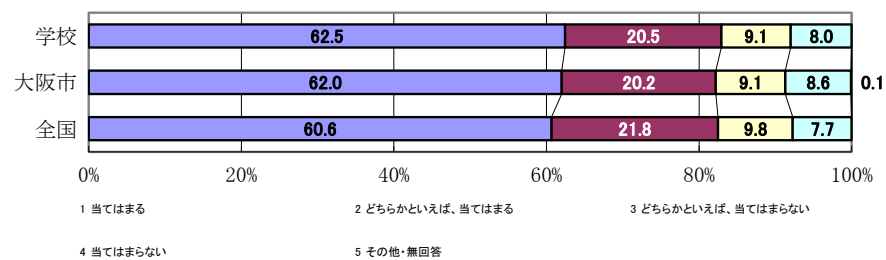
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



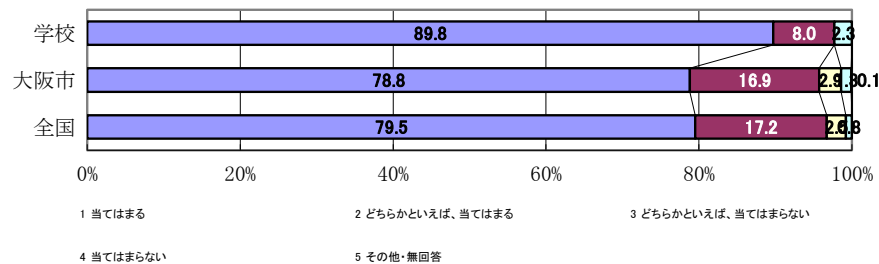
## 児童質問より

質問番号

質問事項

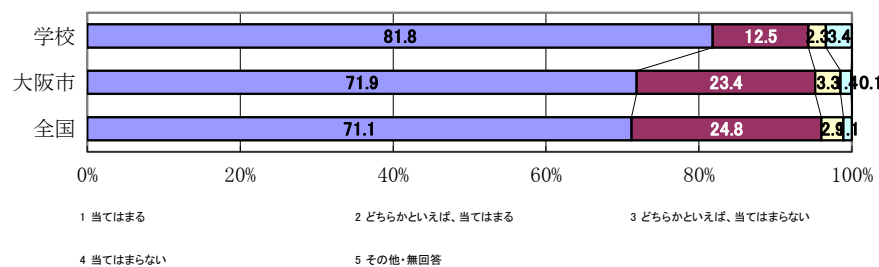
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



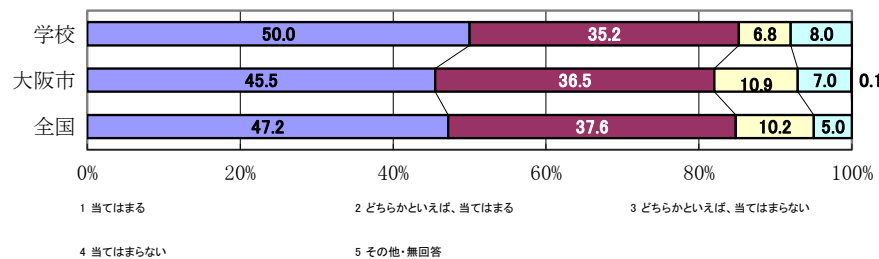
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



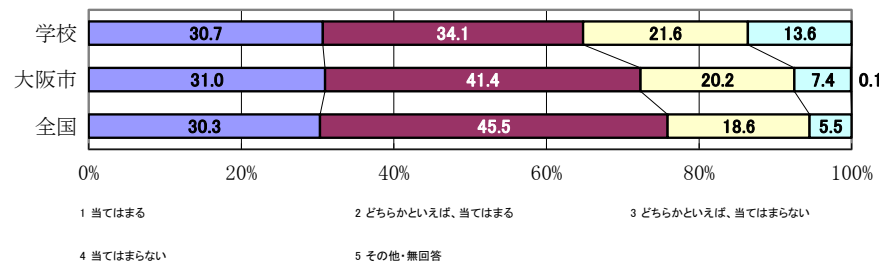
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



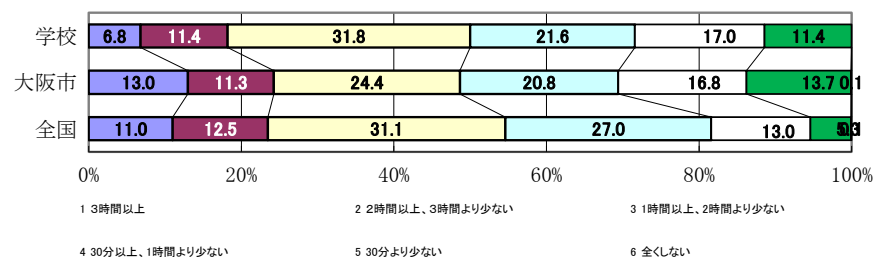
17

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



## 学校質問より

質問番号

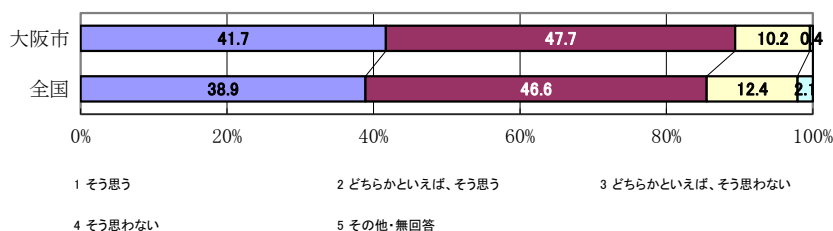
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



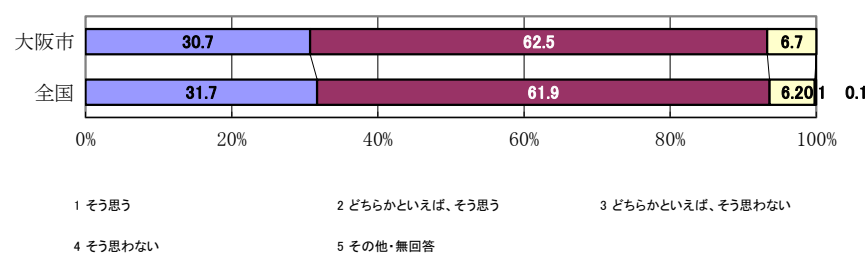
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

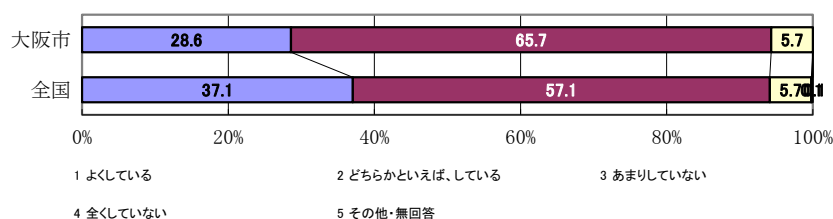
学校 「そう思う」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるように指導を行っていますか

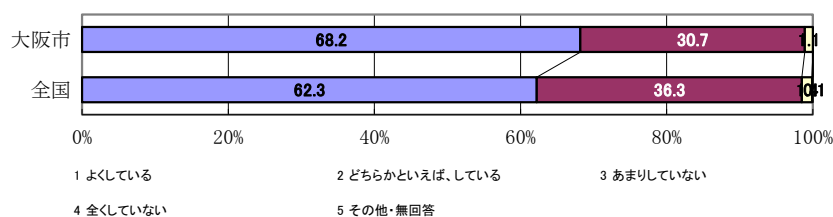
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

